

目指す学校像「一人一人が輝く、楽しい河辺小学校」～「向上心」とその基盤となる「自己肯定感」を育む～

<学校経営方針の重点>

1 学力向上と主体的な学びの推進

2 豊かな心の育成

3 家庭・地域との連携

4 特色ある教育活動の充実

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善案	学校関係者評価		学校の見解と今後の方向性
							評価	コメント	
学力の向上と主体的な学びの推進	各教科の「楽しい授業」の追求に	学習環境の整備・活用	1 単位時間の授業を充実させる。(河辺小授業スタイルでの授業実践、学ぶ楽しさ・成就感を体得させる授業の工夫)						
			基礎的・基本的な学力を定着させる。(「はい・立つ・です」等授業規律の確立、河辺ドリルの活用、ステップアップ等の補習の取組、家庭学習の習慣化)						
			校舎内外の教育環境 (ICT機器・掲示物・学習支援員等の人材・地域教材 等) の整備・活用を図る。						
豊かな心の育成	「自他尊重の精神」の涵養	教師と児童の信頼関係の構築	「ハートフル河辺プラン」に基づき、教師が人権感覚を磨き、児童理解に努め、教師と児童との信頼関係を築く。						
			「自他尊重の心を育む人権教育」を推進し、人権感覚と規範意識を育み、「河辺しぐさ」の浸透を図る。						
			特別活動 (児童会・クラブ活動・縦割り班・学級活動) 等の交流活動を充実させ、自主性と協調性を育てる。						
家庭・地域との連携	適切な情報発信による信頼関係の構築	保護者からの情報発信の充実	ホームページ、メール配信、各種便りなどを通して、必要な情報を丁寧に家庭・地域に適宜伝える。						
			保護者からの相談や連絡などに、丁寧に応じるとともに、組織的対応を図り、早期解決に努める。						
			学校行事、保護者会、個人面談、学校公開等を充実させ、教育活動や児童の学校生活等への保護者等の理解を深める。						
特色ある教育活動の充実	特色ある教育活動の充実	心身の健康への関心の向上	体育指導や体育的活動 (体育朝会、なわとび・マラソンの取組等) を工夫・充実し、日常的に運動に親しみ態度と自らの心身の健康への関心を向上させる。						
			河辺小の歩みや特色、地域の自然や環境、歴史や文化財等を活用し、教育活動の充実を図る。(愛鳥モデル校の活動を含む)						
			オリンピック・パラリンピック教育、特別支援理解教育、小中一貫教育など、特色的な教育活動を通して、児童が自他理解を深め、今後の生活の仕方や生き方を考える機会を作る。						

※評価について A:よくできた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった

